

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2740

vol. **12**  
2022.6



## ガバナー 月信

2021-2022年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 塚崎 寛



## 2021-2022年度 国際ロータリーのテーマ



### 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

## CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
国際ロータリー会長メッセージ	2
ガバナーメッセージ	4
ガバナー補佐退任挨拶	8
地区委員長退任挨拶	13
「佐世保北フレンドシップロータリー衛星クラブ設立記念式典・祝賀会」の報告	21
2022 学年度 米山記念奨学生カウンセラー・奨学生オリエンテーションの報告	22
会員数・出席報告	23
新会員紹介・物故者	24
寄付者紹介・6月の行事予定	25
ロータリーコーディネーター NEWS	26
子どものころのわが町 長崎・編集後記	裏表紙

## 国際ロータリー会長メッセージ



2021-2022年度 国際ロータリー会長

シェカール・メータ



「Each One, Bring One」（みんなが一人を入会させよう）イニシアチブに積極的に取り組んでいただいているおかげで、ロータリーの会員傾向が非常に好ましいものとなっていることをとても嬉しく思います。この勢いを失わないように、取り組みを続け、入会した全会員の維持にも力を注ぎましょう。来月には、ヒューストンでの2022年ロータリー国際大会で皆さまにお会いできるのを楽しみにしています。今大会が素晴らしいイベントになると確信しています。

同じく、6月にヒューストンで最後の会長主催会議が開催されます。ロータリーの重点分野を中心に上げた今年度の一連の会長主催会議は、出席者数という点でも、そこで出たアイデアという点でも、大きな成功を取っています。

昨秋にフィリピンで開催された会議では、「環境の保護」と「地域経済の発展」に焦点を当て、2,200人がオンラインで出席しました。ブラジルで開催された会議では、「水と衛生」およびそれが「疾病予防と治療」にどうかかわるのかに焦点を当て、600人以上が出席しました。その後には、モザンビークのマプトで環境、経済、平和に関する会議が開催され、対面式で約400人、バーチャルで約700人が出席しました。イタリアのベネチアで開かれた「経済と環境の調和維持」に関する会議には、600人以上が出席しました。

これらの会長主催会議、そして世界各地への訪問を通じて、数多くのリーダーが私と面会し、ロータリーとの協力に同意してくれました。これには、モーリシャス首相、セーシェル大統領、バーレーン副首相、アルバニア大統領、コンゴ大統領が含まれます。ロータリーは明らかに世界にインパクトを与えており、世界は私たちのリーダーシップを熱望しています。

ヒューストンでの最後の会長主催会議は、「平和のために奉仕する」と題し、ロータリーが長年リーダーシップを発揮してきた分野である平和に焦点を当てます。ロータリーでのすべての活動は、地域社会、国、そして自分自身の中で平和を培うための土台づくりとなります。

## 国際ロータリー会長メッセージ

去る3月、大勢のウクライナ難民がポーランドに押し寄せる中、ロータリーが多大な支援を行っているのを私はこの目で見ました。この取り組みのためにこれまでに何百万ドルもの寄付が寄せられ、ロータリーのプロジェクトが多大な変化をもたらしています。皆さまの惜しみないご寄付やご支援に対し、多くの人が感謝しています。

住むところを奪われた人たちを間近で見ると、とても心が痛むことであり、これはウクライナの人たちだけに限ったことではありません。イエメンでは悲惨な内戦が続いています。アフガニスタンでの人道危機も深刻化しています。武力紛争により、リビア、南スーダン、中央アフリカ共和国、モザンビーク北部、エチオピア、カメルーンといったアフリカの国々が影響を受けています。また、シリアとベネズエラでも深刻な難民危機が続いています。

ロータリーはいつでも、平和的な紛争解決を選び、時間と場所を問わず、可能な限り人びとに援助と癒しを提供しています。第二次世界大戦の終わりにも、ロータリーが国連創設を促し、世界での平和構築のために立ち上がりました。今こそ、私たちの使命を再確認し、世界最大の平和推進者としてのロータリーの役割を果たすときです。

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」の実践こそが、平和を推進するための最善の方法なのです。



## Governor's message



2021-2022年度 第2740地区ガバナー

塚崎 寛



1970年に上映された映画「ひまわり」をご存知の方は多いと思う。

ソフィアローレンとマルチェロマストロヤンニ主演の戦争により引き裂かれた運命の悲恋の話である。全編に流れるヘンリーマンシーニの「Sunflower ひまわり」の曲と、地平線まで続く果てしないひまわりの黄色い畑。ウクライナのひまわりのラストシーンに涙した人は多かったと思う。つい最近のテレビニュースの話であるが、丸腰の老婆がロシア兵のポケットにひまわりの種を突っ込み、何故ロシア兵が我々の土地に来て侵攻をしたのかを尋ね、「お前が鉄砲で撃たれて死んでも、このひまわりはきれいに咲くよ!! だからひまわりの種をポケットに入れなさい。」と叫んだ動画が配信されたのを見た人も多いと思う。きっとこの老婆も映画を見たことがあるのか…

ウクライナの人々はひまわりの花束を持って侵攻に抗議し、支援の意思表示の為にTwitterのプロフィールにこの絵文字を追加している。ロシアと戦い続けるウクライナでひまわりは新たな意味を持つようになった。もともとひまわりはウクライナの国花であるが、この老婆の叱責する映像が広く共有されてから、新たな抵抗のシンボルとして注目されるようになった。

この動画はニュースサイトUkraine Worldが2022年2月24日にTwitterに投稿したもので800万回以上再生されている。

それから今月に入り、家内が私にブルーとイエローのポケットチーフをプレゼントしてくれた。私はその日から毎日そのポケットチーフを身に着けている。

…ロシア兵は「分かった。この会話は何も生まない。これ以上事態を悪化させないようにしよう。」と言った。この老婆は銃撃戦の中、ひまわりの種を持って行き、しかも勝利をした。

今や世界中の抗議者はウクライナの事を思い、ひまわりの花束や花、ポケットチーフやスカーフを身に着けている。

ロンドンのロシア大使館は誹謗中傷の言葉ではなく、ひまわりの花の絵の落書きで覆われたそうだ。

それから私が幾つかのポケットチーフを購入して何人かのロータリアンに差し上げようとしたが、少し派手で恥ずかしいのか、この事の意味をご理解されなかったのか、はたまた対岸の火事であったのか、全員にご遠慮されたのは少々淋しかった。

6月のロータリーの特別月間は「ロータリーの親睦活動月間」である。余談ですが私のガバナーとしての最後の月でもある。

各クラブの皆さん、この最終月間の親睦活動月間に親睦を深める活動の1つとして、何かしら世界平和に貢献できることを実践されてみたら如何でしょうか？

ゴルフであれば、以前も申し上げましたがチャリティーゴルフをされたらどうでしょう!? 楽しさの中にロータリアンらしい実りある活動を取り入れ、すばらしい年度で締めくくりたいものです。

## Governor's message

2022年（令和4年）4月24日（日）13：30よりガーデンテラス佐賀ホテル&マリトピアに於いて、2022-2023年度の地区研修協議会が行われた。

地区ガバナーエレクト上村春甫君の主催で約330名の次年度地区役員、会長・幹事、クラブ役員を集めての研修協議会であった。

ガバナー挨拶の後、ガバナーエレクト上村春甫君による次年度地区方針の発表、千葉憲哉パストガバナーによる基調講演があり、その後5つの分科会に分かれ、各地区奉仕委員長による次年度活動の説明があり、その後全体会議において福田金治パストガバナー（規定審議会地区代表議員）による規定審議会報告、山下雄司次年度地区幹事による次年度地区運営についての発表があり、次年度地区会計長 大曲清一郎君による次年度予算案の発表があり、全員に承認された。

最後に紡方信行ガバナーノミニーによる講評で終了した。

各クラブにおいては、各クラブ会長より詳しい内容の説明があるものと思います。



### ■2022-2023年度「地区テーマ」「地区活動及びクラブサポートの重点項目」 「重点項目への活動目標」「継続的な重要課題への取組み」

#### ○「地区テーマ」

『想像』して『創造』しよう・・・ロータリーで未来を！

#### ○「地区活動及びクラブサポートの重点項目」

1. 女性会員の増強と女性会員の積極性と帰属意識とが醸成されるような環境の整備
2. 青少年活動の活性化
3. リーダーシップ開発活動の強化

#### ○「重点項目への活動目標」

1. 「女性会員の増強と女性会員の積極性と帰属意識とが醸成されるような環境の整備」への活動目標
  - ・女性会員増加への注力
  - ・女性会員に責任ある仕事を任せる等女性会員が「ロータリーはおもしろい」「ロータリーに入ってよかった」と思える場の提供や活動の実現
2. 「青少年活動の活性化」への活動目標
  - ・インターアクト、ローターアクト、RYLA、国際青少年交換等の青少年関係プログラムの充実
3. 「リーダーシップ開発活動の強化」への活動目標
  - ・RLI活動の活発化

## Governor's message

### 4. R I 会長テーマの理解と促進のサポート

- ・ R I 会長テーマ「イマジン・ロータリー」を理解し活用してロータリーのコミットメント即ち多様性・公平さ・包摂を具現化する活動をサポート
- ・ ロータリー賞への挑戦の推奨

### ○ 「継続的な重要課題への取組み」

#### 1. 会員の増強

—目標—

- ・ 会員数30名未満のクラブ～会員純増2から3名  
30から50名未満のクラブ～会員純増3から4名  
50名以上のクラブ～会員純増5名以上
- ・ 女性会員数純増
- ・ ローターアクター純増

#### 2. 各種寄付の拡充推進サポート・アドバイス

—目標—

- ・ ロータリー財団への年間寄付1人150ドル
- ・ 米山記念奨学金への年間寄付1人16,000円
- ・ ポリオプラス基金への年間寄付1人30ドル

#### 3. R L I の活性化

ロータリー・リーダーシップ研究会の活動を積極的に支援

#### 4. ロータリー奉仕デーへの積極的参加

ロータリー奉仕デーへの積極的参加に取り組み、公共イメージのさらなる向上を図る。

#### 5. 「My Rotaryアカウント登録の増強」

目標：My Rotaryアカウント登録100%

#### 6. 「クラブ活動計画策定及びクラブ目標設定のサポート・アドバイス」

クラブ活動計画策定及びクラブ目標設定のサポート・アドバイス態勢を整備

### ロータリー賞の報告締切日は6月30日です

ロータリー賞は、各年度のクラブの優れた取り組みを表彰するものです。ロータリー賞の目標に向けた取り組みは、クラブで会員の参加を促し、地域社会におけるクラブの存在意義を保ち、効率的に運営するための一助となります。人びとを温かく迎え、その参加を促すクラブは、ロータリーの価値観を反映したクラブであると言えます。クラブがロータリー賞の目標に取り組むことで、ロータリーの力強さを保ち、次世代にとってふさわしい文化を育むことができます。

ロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブは、ロータリーとクラブを強化することを目的とした各種目標を達成することで、ロータリー賞を受賞することができます。目標には、会員増強、持続可能なプロジェクトの立案、ロータリー財団への寄付、地域社会でのロータリーの認識向上が含まれます。

### ロータリー賞（ロータリークラブ）

ロータリー賞の目標は、ロータリークラブ・セントラルから確認できます。ロータリー賞を達成するには、25の目標を確認し、少なくとも13を選択し、それらを達成した上で、ロータリークラブ・セントラルからその達成をご報告ください。

## Governor's message

### ロータリー財団よりウクライナ支援金の報告ならびに 国連 UNHCR 協会より、支援金の感謝状が届きました



#### ご寄付が活用されています

2022年3月3日から4月30日までにロータリー災害救援基金に寄せられたすべてのご寄付は、ウクライナ難民またはこの戦争の被災者支援が行われている地域への人道的救援活動に優先して活用されています。

世界中の方々からの温かいご支援のおかげで、ロータリーは1,500万ドル以上の寄付を募り、水や食糧、シェルター、医療物資、衣服といった必需品のために既にこの資金を活用しています。

現在までに、この戦争による被災者支援のために、90件の災害救援補助金（総額240万ドル）が授与されています。ロータリー財団は引き続き、この寄付をウクライナとその周辺地域での人道的救援活動に活用していきます。地区は2022年6月30日まで、この目的のために災害救援補助金を申請できます。

5月1日以降の災害救援基金へのご寄付は、復興援助を必要とする全世界の被災地で活用可能となります。



難民を守る。難民を支える。  
国連UNHCR協会

#### 感謝状 塚崎 寛 様



© UNHCR/Weinli Matsuda  
ウクライナの難民を助け、ポーランドにUNHCR職員と対面する子ども

日頃よりUNHCRの活動へ温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。  
皆様からの貴重なご寄付は、紛争や迫害等により避難を強いられた世界の難民と国内避難民を守るUNHCRの活動のために、大切に活用させていただきます。

UNHCRの人道援助活動は、家を追われてきた人々の緊急援助、シェルター（仮設住居）支援、女性や子どもなど最も弱い立場にある人々の保護、教育、保健医療、自立生計支援など多岐にわたります。活動地域はアフリカや中東、アジアから中南米まで約130か国に及びます。戦闘や不安定な社会情勢等のため、危険と隣り合わせで過酷な現場も少なくありませんが、UNHCRは「家を追われ助けを必要とする人々のそばにとどまり、命を守る」という原則と使命感のもと、難民の方々に寄り添い、今日も活動に力を尽くしています。  
皆様からの温かいご支援が、そうしたUNHCRの一つひとつの活動を可能にし、かけがえのない命を救ってきました。ここに改めて、皆様からの貴重なご支援に、心からの敬意と深い感謝の思いをお伝えたく存じます。

どうぞこれからもUNHCRの援助活動にお力添えをいただき、私たちと一緒に難民の命と尊厳を支えてくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 国連UNHCR協会  
事務局長

川合 雅 幸





## ガバナー補佐退任挨拶



第1グループ ガバナー補佐 **吉田 政亮** (佐賀大和RC)



第1グループ ガバナー補佐を終えるにあたり、塚崎ガバナー、岡田地区幹事、第1グループの皆様には大変お世話になり心より厚く御礼申し上げます。

各クラブを訪問させて頂き、ユニークな活動、これぞロータリーという充実した内容の活動をされている所もあり、感動すると共に勉強にもなりました。

今年度も新型コロナウイルスの影響で例会の開催や奉仕事業などロータリーの活動が大きく制限された1年となりました。その中で唯一、第1、2グループ合同環境美化プロジェクトを開催できたことは幸いに存じます。しかしガバナー補佐が主催する第1、2グループ合同のIMは協議を重ねた結果、中止を余儀なくされ、3年連続で開催することが出来ず非常に残念に思います。

未だ新型コロナウイルスの流行が抑制されず、いつ終息するのか先行きが見えない状況の中、常に感染リスクを念頭に行動しなければなりません。この様にライフスタイルが変わっていく中で私達のロータリーライフも変化していくものと考えております。対外的活動は殆ど延期・中止となり、全てが終息するまでは相当期間が必要になると思われまます。今後はWITHコロナで活動できる体制を整えていかなければなりません。そうなる私達の適応力が試される事になりますので、次期ガバナー補佐、会長、幹事の皆様にはそれぞれの創意工夫でこの状況を乗り切って頂きたいと思っております。

塚崎ガバナーのご指導と第1グループ会長、幹事はじめ会員の皆様のご協力を頂き、1年間を終えることが出来ました。皆様の温かい友情に改めて感謝申し上げます。



第2グループ ガバナー補佐 **古賀 久志** (佐賀北RC)



一昨年の秋、ガバナー補佐を依頼された時は、コロナ禍も一年もしたら落ち着いているだろうと思っていましたが、あまりにも甘い見通しでした。半月先も見通せない日々が続き、ロータリーの行事も多くが中止、変更となりました。ガバナー公式訪問もWebでの訪問が続き、塚崎ガバナー、岡田地区幹事を始め地区事務局の皆様のご苦労は大変であったろうと思ひます。担当クラブの皆様のご努力で地区大会が立派に開催されたことは本当に幸いでした。

又、多くのクラブが長く休会する事態にも陥りました。こんな時こそガバナー補佐の任務として、尽力すべきであったのに、どうしてよいかも判らず、何の役にも立てなかった事は痛恨の極みであります。

そんな中、昨年の9月26日(日)に、「ロータリー奉仕デー 環境美化プロジェクト」を第1第2全10クラブの協力の元、実施する事ができました。第1第2全10クラブが揃って参加したボランティア活動は過去にも例が無かったのではないかと考えています。皆さん方のご協力のお陰だと心から感謝しております。可能であれば、次年度も継続して頂ければと思っています。

一方、合同例会、IMが昨年に引き続き実施出来ず、会員同士が一堂に会して親しく語り合う懇親の場を持てなかった事は大変残念でした。ガバナー補佐として、力不足であったと反省しております。

当分の間、この厳しい状況が続くと思われまます。ガバナーと言われるように時代に即したクラブのあり方を考える必要が高まっている様に思ひます。

最後になりますが、塚崎ガバナー、岡田地区幹事、そして第2グループの皆様には一年間誠に有難うございました。こころから感謝申し上げますと共にコロナに負けず、会員の皆様が大いにご活躍されます事をご祈念申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただきます。

## ガバナー補佐退任挨拶



第3グループ ガバナー補佐 **山口 康雄** (大町RC)



退任を前にしてこの1年を振り返りますと、就任前に次年度のガバナー補佐の選出という難題が待ち受けていました。花島ガバナー、迎地区幹事にも出席していただき4月末に緊急会長会議を行いました。なかなか決まらず最終的には太良クラブの秀島寛君に引き受けていただきました。

7月に入りクラブ協議会・ガバナー公式訪問が始まりガバナー補佐として各クラブを訪問させていただいておりましたが、8月14日に発生した豪雨災害により状況が一変しました。特に武雄市、大町町は甚大な被害を受け多くの会員事業所、自宅も被災しました。それに加え新型コロナウイルス感染が拡大し、例会も休会となりガバナー公式訪問もリモート開催、延期となりました。豪雨災害に際しましては地区内外のロータリアンから多額の義援金を賜りましたこと、温かい励ましの言葉をいただいたことに心から感謝申し上げます。

残念ではございますが1月に予定していたクラブ訪問、会長幹事会、3月に行う開催予定のIM、またグループ内親睦行事等はコロナの感染拡大により中止となりました。そんな状況のなか、昨年11月に地区大会が開催され皆様にお会いできたことは大変嬉しく思います。

最後になりましたが、ご指導いただきました塚崎ガバナー、岡田地区幹事、他グループガバナー補佐の皆さん、そして第3グループ各クラブ会長、幹事並びに会員の皆さん、次期ガバナー補佐を引き受けていただいた太良クラブの秀島君、多くの皆様の温かいご支援ご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



第4グループ ガバナー補佐 **松尾 憲篤** (唐津東RC)



今年度こそはと、意気揚々とスタートしたロータリーの活動でしたが、コロナ禍もいっこうに終息の気配はなく、対策に追われる日々を送られているかと存じます。

8月に佐賀・長崎を襲った豪雨では、ロータリーメンバーにも被害をもたらしています。

すぐさま国内ロータリークラブより多額の支援金が集められ、ガバナー自ら佐賀県庁に足を運ばれ、県知事に直接手渡しをされました。ロータリークラブの底力を認識した事例であったかと存じます。また、念願であった花島バスターガバナーのご指導のもと6つのロータリークラブの方にパネリストになってもらい、IM及び懇親会を行うとのことで企画運営に力を注いで頂いておりましたが、やむなく中止となりました。残念でもありましたが、協力を頂いたメンバーには大変感謝しております。ロータリーディの企画では、全クラブで賛同いただき実施していただくことができました。ビジョン策定委員会の実施におきましても、クラブ細則の見直しと合わせて進ませて頂きました。ガバナー公式訪問も全クラブともzoomでの訪問となり親しくひざを交えての交流の場も設けることができず、ガバナーご自身もこの1年、隔靴搔痒の想いをなされたと思います。地域におけるロータリーの在り方をしっかり感悟把握に至るところまではいかず、コロナ禍のせいにするにはいささか申し訳ないという思いもありますが、このような厳しい状況にあっても新しい会員が確実に入会されております。今後もそれぞれのクラブの特質を強くだされ、友情の輪を広げていかれんことを心より祈念いたします。

## ガバナー補佐退任挨拶



第5グループ ガバナー補佐 **山本 規仁** (松浦RC)



新型コロナ感染がここまで蔓延し、長引くとは誰もが想像出来なかったと思います。

そろそろ収束に向かうのかと思いきや、原稿をしたためている5月7日現在、長崎県内感染者が600人と一向に収まる気配がありません。

私のガバナー補佐就任もコロナ禍で始まり、コロナ禍で終わりそうです。

第5グループにおきまして、コロナ禍の影響で残念なことにクラブ協議会として3クラブは訪問しましたが、ガバナー公式訪問は1クラブのみとなりました。それどころかクラブ例会が休会、あるいは短縮例会が続出で一回も訪問出来てないクラブもある状況で本当に心苦しい思いです。第5グループの皆様には力不足のガバナー補佐で大変ご迷惑をお掛けして申し訳なく思っております。もちろん、この状況の中でしたのでインターシティミーティングや諸行事もやむを得ず中止することになりましたが、唯一11月の地区大会に参加出来たことは私にとって最高の思い出となりました。しかし、不完全燃焼で終わるのが心残りです。非常に厳しい状況の中、塚崎ガバナー、岡田地区幹事そして地区役員の皆様は例外になく大変な一年だったと推察致します。

色んな面にご指導、ご協力賜り厚くお礼申し上げます。



第6グループ ガバナー補佐 **小川 信** (佐世保南RC)



2021~2022年度第6グループのガバナー補佐の拝命を致しまして、コロナウイルスに始まりコロナウイルスに終わるという大変な年度でありました。振り返ってみても特に重要なことを成し遂げたという実感もなく、日々が過ぎていくという感じでありました。

第6グループの会長さん始め会員の皆様方には丁寧なおもてなしをいただき、皆様には心よりお礼申し上げます。クラブでの例会も休会が多くなり大変な状況変化で会長さん始め執行部の皆様は苦慮されたことと思います。しかし佐世保北ロータリークラブさんでは毎週ズームでの例会を行われ又佐世保北フレンドシップロータリー衛星クラブを設立され現状に即したことを渡会会長さん、会員の皆様の協力で運営されていることに感服致します。

今期の目標は会員増強です。R1会長様は会員増強1割増といわれ、塚崎ガバナーは各クラブ女性会員の7%増ということで今期各クラブ行動していただき感謝致します。

塚崎ガバナー、岡田地区幹事、1年間有難う御座いました。

各クラブの会長様、幹事様、大変お世話になり有難う御座いました。各クラブの発展と皆様の今後の活躍をご祈念し退任の挨拶とさせていただきます。

## ガバナー補佐退任挨拶



第7グループ ガバナー補佐 **帯屋 徹** (大村RC)



ガバナー補佐退任に当たり、ご挨拶を申し上げます。今年度もコロナ感染拡大の為、思うような活動が出来なかったこと、IMの中止等残念な結果と成り、ご迷惑をおかけし、関係各位の皆様には心よりお詫び申し上げます。

クラブ協議会、公式訪問につきましては、雲仙、島原、南島原クラブでは通常通り開催出来ましたが、大村、大村北、大村東クラブは大変残念ながらZOOMによる公式訪問となりました。

又、今年度の第7グループに於きましては、2021年8月の雲仙における集中豪雨で3人の犠牲者を出し、雲仙RCクラブの事務局がある観光協会の職員の方もお亡くなりになりました。又雲仙の地場産業である観光にも大きな打撃を与えました。

この被災に対し、全国より義援金が集まり、雲仙市の復興を願い、雲仙市に対し1000万円の災害見舞金を、11月11日に塚崎ガバナーと共に雲仙市役所にお届けに参りました。全国から義援金をお寄せ下さったロータリアンの皆様に深く感謝を申し上げます。

又、次年度のガバナー補佐選出やガバナーデジグネートの選出に対しても各クラブの事情が山積する中、色々ご無理なお願いを致しましたが寛容の心でご協力を賜り、紆余曲折を経て、どうにか決定に至りました事心より御礼を申し上げます。

最後に、雲仙クラブと諫早南クラブの合併が決まり次年度から雲仙 諫早南ロータリークラブとして再出発されることとなりました。

雲仙クラブに於かれましては会員減少、観光業の衰退、自然災害、クラブ事務所である雲仙温泉観光協会が、組織変更の為使用出来なくなるなど、52年間の歴史のあるクラブを解散か合併か2年間悩まれた上の決定であり残念ですが、両クラブにとって今考えられる最良の道ではないかと私からも進言させていただきました。

雲仙 諫早南ロータリークラブがこれを契機により力強く発展し活躍頂きますよう祈念してご報告と退任の挨拶に代えさせていただきます。



第8グループ ガバナー補佐 **森 栄一郎** (諫早北RC)



塚崎寛ガバナー年度のガバナー補佐として1年間頑張っているつもりでしたが、今年もコロナ禍で色々な行事が中止、又簡素化してのプログラムとなり残念です。コロナウイルスの1日もはやい終息を願わずにはおられません。

塚崎ガバナーが誰よりも残念だったと推察いたします。岡田地区幹事も予定変更ばかりで大変でした。ガバナー事務所関係も併せて大変ご苦労様でした。

第8グループのガバナー公式訪問はコロナ禍の中で塚崎ガバナー、岡田地区幹事を迎えての協議会に変更して頂き、いろいろご助言ご指導有難うございました。塚崎ガバナーの話をもっともっと聞きたかったのですが残念です。例会はなるべく休会にしない様にZoomによるリモートとかハイブリッドで頑張っています。困難な中での例会出席はロータリアンの「超私の奉仕」の支えになったのではないのでしょうか。又、困難な中だから本当の友情がめばえ退会者を出さないようにロータリークラブを考えるチャンスではないのでしょうか、ピンチをチャンスに変えましょう。第7グループ、第8グループのIMは実行したいと思い4月30日で会場も確保しましたが、結局コロナ禍で断念する事に致しました。去年に続いての中止なので残念です。今年は最初からコロナウイルスとの戦いだと解っていたのに……各クラブにおかれましてはロータリー奉仕デーのロータリーの旗を立て奉仕活動をして頂き感謝しています。インターアクトクラブ、昨年立ち上げたロータリーアクトクラブの皆さんの奉仕デーのご協力に併せて感謝します。第8グループの会長、幹事も多くのロータリアンの皆さんにはガバナー補佐として活動の場が少なく又力不足を併せてお詫びいたします。

最後になりましたが塚崎ガバナー、岡田地区幹事はじめ全てのロータリアンの皆様のご健勝とロータリークラブの発展を祈念します。最後の最後に、皆さんとの懇親会が出来なかったのが残念です。

## ガバナー補佐退任挨拶



第9グループ ガバナー補佐 **張本 民雄** (福江RC)



江上徹也ガバナー補佐の後を受けて早一年、振り返ればあつと言う間の一年でした。当初よりコロナ感染症がどうなるのかで、活動方針が変わることは解っていましたが、地区研修協議会・セミナー等、対面での会議が出来ず、又、新年度から例会開催がままならない状況下で、ガバナー補佐として、ガバナーの考え・方針等をグループ内の各クラブ会員に上手く伝えることが出来たのか？疑問に思うところです。

そのような中でも、工夫しながら何とか「クラブ協議会・ガバナー公式訪問・懇談会」を終え、ガバナー最大イベントの地区大会が、出島メッセ長崎で11月27日(土)に、本会議だけでしたが盛大にそして成功裏に終えることが出来たことは、何にも増して喜ばしいことでした。

又、ガバナー補佐として、メイン事業のIMを、4月2日(土)に福江ロータリークラブがホストクラブとなって、五島市で開催出来た事は、何よりも有り難いことでした。吉田 泰之実行委員長始め山下 克己会長並びに会員の皆様方に、心から感謝を申し上げます。

最後に、今まで自クラブしか知らなかった私が、初めて地区の役員…それもガバナー補佐となり、少し広い目でロータリーを学び、そして、各クラブを訪問することが出来たことは、素晴らしい経験となりました。

特に、各クラブの歴史、特徴あるクラブ運営方針や例会・協議会の手順、多彩な奉仕活動の実際を知ることが出来て、本当に良かったと思います。

これにて辻村 栄藏ガバナー補佐エレクトに「心の襷」をお渡しし、退任致します。塚崎 寛ガバナー・岡田 康信地区幹事を始め地区関係者の皆様、各クラブ会長・幹事を始め会員の皆様、そして、私をガバナー補佐に推薦して頂いた福江ロータリークラブの皆様、本当にお世話になりました…有り難うございました。

九拝



第10グループ ガバナー補佐 **梅本 義信** (長崎南RC)



第10グループのガバナー補佐をお引き受けし、1年が経過しようとしております。塚崎ガバナー、岡田地区幹事、長崎南ロータリーの皆さん、大変ご指導頂き、有難うございました。また第10グループの会員の皆さまの御理解・ご協力に心から感謝申し上げます。

(1) 各クラブ訪問により、各クラブの奉仕活動報告を受け、あるクラブに於いては、様々な理由で家族と一緒に過ごすことが出来ない子供達に、触れ合い活動として「餅つき大会」・「ブドウ狩り収穫体験」等の機会を与えたり、あるクラブでは、養護施設の子らに「おしごと探検隊」として、生きていく上で必要な「仕事」について、知る機会を与える奉仕活動等が為されてきました。

かかる活動は、子供らの豊かな人間形成、健全な育成に大きく寄与するもので、継続的取組みが必要であると痛感致しました。

(2) 地区大会は、11月27日長崎市で建築されたばかりの、大きな公共施設「出島メッセ長崎」で開かれ、1000名を越すロータリアンが一同に会し、塚崎ガバナー主導の下、大会標語「コロナ禍にも不滅のロータリー」とし、「慈愛に満ちた奉仕の精神」の実践を確認でき、高揚ある記念すべき大会となり、とても感激致しました。

(3) コロナ禍の中、他のグループがIM中止を余儀なくされる中、第9・第10グループだけが、五島市でIM(ホスト福江ロータリークラブ)を開くことが出来ました。参加者118名、基調講演「ロータリーの軌跡と展望」(岩永バストガバナー)、及び記念講演「私と陸上競技の過去・現在・未来」(県立五島高等学校教諭 藤永桂子)ありで、とても意義あるIMとなりました。

この一年、かかる貴重な体験をさせて頂き、ガバナー初め、地区幹事、各クラブの会長・幹事さん、会員の皆さまに、心から感謝申し上げます。

## 地区委員長退任挨拶



R L I 推進委員会

吉岡 義治 (佐賀南 R C)



地区として3年の準備期間を費やし、満を持して「第一回目のロータリーリーダーシップ (R L I) 研修会」を開催できたことは、今後の当地区において、意味ある大きな第一歩であったと思います。

R L I 研修は、ファシリテーションを用いて行います。そのファシリテーションをするには、話しの道先案内であるディスカッションリーダー (D L) が必要不可欠です。

まず、1年目に当時の地区委員長の方々に声掛けをし、結果9名の方に隣の2700地区のD L講習会に参加して頂きました。

2年目は日本R L I D Lリーダーであられる中村靖治先生監修のもと、当地区初のD L養成講座を行いました。

そして3年目、当地区初のR L I研修を実施するに至りました。

誕生したD L有志で中村靖治D LリーダーによるD L研修を何度も重ね、各自のセッションに必要な資料を自作し、準備して参りました。

ロータリーのファシリテーションとは、例会活動が円滑に進むように、そして例会の成果を最大化できるように促進する為のものです。

それらの考えを推し進め、ファシリテーションの技術を身に付ける事で、他者理解、効果的な意見交換によって合意形成を身につけます。それらをあらゆる場所に活用して頂きたく思います。ご自身の職業・家庭・その他地域社会へと、いろんところで活用してください。

R L I研修は3つのパートで構成されています。1日6時間、3日に分けての研修です。受講なさった方々もそうですが、私達D Lも大変勉強になります。

また、目に見えない絆がうまれます。敢えて言うならば、ロータリーの寛容さを体現できる場であると確信します。

これから先、この研修は回を重ねていきます。繰り返し、たくさんの方々に研修に参加して頂きたいと思っております。研修を終了なさった方でも興味がおありの方は、是非とも私達と一緒にD Lをしてみませんか。皆さんの参加をお待ちしております。



クラブ管理運営委員会

野田 初憲 (神埼 R C)



2021~2022年度 国際ロータリーのテーマは「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を掲げられていました。シャカール・メータ会長は、「奉仕するとき、誰かの人生だけでなく自分の人生も豊かになる」「人々の世話をし奉仕することこそ人生最高の生き方」と述べられ、奉仕プロジェクトへの積極的な参加を会員に呼びかけていました。

しかしながら、世界的なコロナ禍のなか、社会の文化や常識に対して否応なしに変化が求められ、ロータリー活動においても今までの様な活動が出来ない状況が続きました。そのような状況の中、2022年4月24日に地区研修・協議会分科会が行われ、R L I推進委員会委員長：吉岡氏より マイロータリーやクラブセントラルの普及拡大、又、クラブにおけるR L Iの活用などの指導を受け、充実かつ効果的な研修となりました。

さて、2022~2023年度に於いては、女性初のR I会長 ジェニファーE・ジョーンズさんの掲げたR Iテーマ「イマジン・ロータリー」及び、当地区 上村ガバナーエレクトの掲げられたテーマ「想像して、創造しよう…ロータリーで未来を！」に基づき、「女性会員の増強と活発化」「青少年活動の活性化」「リーダーシップ開発活動 (R L I) の強化」を図りながら、未来を見据えた持続可能なロータリー活動・運営を考えていかねばなりません。ロータリーは今、革新性と柔軟性を持ったクラブ運営を求められています。これは、クラブが効果的で円滑な管理運営を行っているかが問われているのだと言えます。創意工夫を凝らした会合の議題とプロジェクトを企画し、充実したロータリーライフが送れるような委員会活動を目指して参ります。

ロータリークラブの原点である「The 4-Way Test」、

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうかを活動における不変の羅針盤とし、2022~2023年度も引き続き ぶれない管理運営に努めて参ります。

## 地区委員長退任挨拶



公共イメージ委員会

原田 徹 (雲仙RC)



国際ロータリー第2740地区公共イメージ委員長の原田でございます。

多くの皆様にお世話になって、地区委員長として2年目を務め上げることができました。大変ありがたく存じます。

おかげ様で今年度は地区の公式WEBサイトをリニューアルする事ができました。ガバナー事務所や各委員会から情報提供をいただきながら、各種研修資料等を掲載して、ロータリアンの皆様にとって有用な情報提供ができる基盤が作れました。

是非、地区の公式WEBサイトをご活用いただければと思います。

また、奉仕事例集も作り、各クラブから投稿できる環境も整備できました。次年度は、この奉仕事例集の活用促進を積極的に行いたいと考えております。各クラブからの投稿を積極的に行っていただき、ロータリーの公共イメージ向上が実現できるよう努めます。

次年度も公共イメージ委員長を仰せつかっておりますので、引き続きロータリーの公共イメージ向上に関する活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1日も早くコロナ禍が終息し、ロータリアンの皆様の日常が取り戻せることを祈念して退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



地区職業奉仕委員会

山本 正樹 (佐賀南RC)



2021-2022年度地区職業奉仕委員長退任に際し、まず皆様に職業奉仕委員会の活動にご理解とご協力、ご支援を賜りました事この場を借りて御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの収束時期が不透明な状況の中で2021年9月11日にZoomでの職業奉仕セミナーを開催出来た事は様々な方々のサポートご協力の賜物だと感謝しています。職業奉仕セミナーでは第2700地区パストガバナーである灘谷PGの講演により職業奉仕の理念が非常に深まりました。それを踏まえてRLI委員会のサポートにより「ロータリーの倫理観」「四つのテストと職業奉仕の実践」2つのテーマについてのファシリテーションを行いました。ロータリー歴の長短に関わらず皆さんが活発に発言し、その発言を上手くまとめていく卓越したDLのスキルに感動しました。

また年間を通して様々なクラブより卓話の御依頼いただきありがとうございます。コロナの感染者数の増加で訪問できなかったクラブもありますが、Webの環境を整える事でパンデミックの状況下でも卓話が可能となるメリットもありますので是非ご検討下さい。

ソーシャルディスタンスの遵守が求められ、対面による親睦や接触が制限される現在の状況に対応するべく2740地区も変化が求められてきました。変化を模索した結果、パンデミックの状況下でも立ち止まることなくロータリーとしての基本理念の浸透や実践のアイデアを共有し納得できる年度を送る事が出来たと考えております。卓話で各クラブを訪問する中で、以前と比べると確実にロータリアン一人一人のロータリアンとしての理念が浸透してきた事を感じています。

ロータリークラブの第一の真価は奉仕する人を育成し社会に寄贈する事だと考えます。

移動や接触の制限下でも可能な奉仕活動は何かを考え、成熟した多くのロータリアンを育成できるような職業奉仕委員会であり続けたいと考えております。

最後に地区委員長に推薦いただき、素晴らしい仲間との出会い、素晴らしい経験の機会を与えていただき心より感謝申し上げます。挨拶に代えさせていただきます。

## 地区委員長退任挨拶



社会奉仕委員会

佐藤 誠 (諫早RC)



2021-2022年度 社会奉仕委員会の活動方針は、「社会奉仕活動を通してロータリーの公共イメージと認知度を向上させよう」をテーマに活動計画をしましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から多くの問題が発生し、活動計画の通りできませんでした。

活動報告1. 第2740地区でのロータリー奉仕デー統一事業が出来なかった事がとても残念でありませんが活動ツールとして、ロータリー奉仕デーの統一ノボリ旗を制作しましたので今後は是非とも活用してください。次年度はロータリー奉仕デーを統一事業として同日同時に、第2740地区ロータリアンが元気に、明るく、気持ち良い汗を流せるようにと願います。

活動報告2. 地区財団活動資金(DDF)を13のクラブが社会奉仕活動に活用されました。また、これまでの活動事業内容を皆さんにご紹介をすることで、ご理解を深め参考にして頂きたいと考えて第2740地区の奉仕事例集を制作し各クラブに配布させて頂きました。

活動報告3. 「ひとり親家庭支援」について  
「ひとり親家庭支援」について講演会開催を計画しておりましたがコロナ感染拡大の状況では困難と判断し、長崎県子ども貧困対策統括コーディネーター山本倫子先生にご協力を頂き、DVDを制作し各クラブに配布をさせて頂きました。この事業はこれからのスタートとなりますので、まずは実態を知る事から、コツコツと継続して頂くことを願います。

社会奉仕事業活動にご協力を賜りました多くのロータリアンの皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

同時に地区事務局の皆様、地区社会奉仕委員5名それぞれの職業で大変多忙な方々ですが、音を上げる事無く最後まで尽力して下さい事に感謝を申し上げ、地区社会奉仕委員長の退任の挨拶とさせて頂きます。本当にありがとうございました。



ローターアクト委員会

高松 茂信 (鹿島RC)



3年目の地区委員長が終了しようとしております。私自身ローターアクト(以下RA)と携わって5年目になりますが、ここまでRAが目まぐるしく変化した年度は今まで無かった様に思えます。年齢制限の撤廃、RAからの地区委員選出、人頭分担金の義務化、2029年にはRA会員数100万人増員計画等、凄まじいものがあります。ただこれらの改革(あえてこう呼ばせて頂きます。)はすべて、RIからの指示によるもので、RAからの要望という訳ではありません。4月23日、全国ローターアクト委員長会議がオンラインで行われましたが、今回のRA改革については、賛否両論(むしろ否が多かった様に思えます。)有り、今後のローターアクトクラブ(以下RAC)運営を疑問視する声も出ています。仏教で言うところの諸行無常、この世の万物は常に変化して、ほんのしばらくもとどまる事はない、今RAもこの様な状況下にあると思われまます。いずれにせよ1968年から続いているRACがこれからも元気で続いて行く事を願って止みません。

最後に私事ではありますが、RA委員長も来期で終了と考えております。もちろんRAファンの私ですから、寂しい気持ちはありますが、残り1年精一杯業務に励みたいと思っております。



## 地区委員長退任挨拶



インターアクト委員会

長戸 和光 (牛津RC)



昨年度に引き続き、第2740地区インターアクト委員会の委員長を拝命しておりましたところ、今期についても任期を終えることになりました。そこで、年度の終わりにあたり、ご挨拶申し上げます。

インターアクト委員会では、年に1度開催されているインターアクト年次大会の開催と、年に2度開催している指導者研修会の開催を主な活動内容としているところ、本年度も、新型コロナウイルス感染状況が改善しない中で、すべて中止せざるを得ない状況となってしまいました。

これで当委員会については2年間ほとんど活動ができない状況となっております。昨年度が何もできないまま1年が経過し、継続して委員長を引き受けるにあたり、本年度こそは成果を上げたいと思っておりましたが、残念ながら何の成果も上げられないまま、また1年を終えようとしております。委員長としての力のなさを痛感しているところです。

次年度については、私が改めて委員長を拝命する予定となっております。インターアクト年次大会については、長崎中央ロータリークラブが提唱する純心女子高等学校インターアクトクラブをホストとして開催される方向で準備が進んでおります。

新型コロナウイルス感染については感染者数の大きな減少は見られない状況ですが、ウイルスとの新たな関わり方が提案されている昨今、可能な形とはなるかもしれませんが、年次大会が開催されることを願い、それと合わせて、そのほかの行事も形を変えながらも開催していきたいと考えているところです。

最後に、インターアクターの活躍の場が次年度には増加することを祈念し、私の退任の挨拶とさせていただきます。



国際青少年交換地区委員会

樋口 征司 (諫早南RC)



2年間(2020年～2022年)国際青少年交換委員会 委員長を務めさせていただき今年度で退任するにあたり、2740地区の皆様方におかれましては多大なるご支援とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

2020年に新型コロナウイルスが世界中に蔓延拡大しRIの指示により、このプログラムが全世界で中止となり各地区戸惑うばかりでした。

当時のインバウンド、アウトバウンド共に早期帰国となり、学生は名残惜しい表情でそれぞれの国へ帰国しました。決して満足のいく留学生活ではなかったと思います。

この先大学等でこの様なプログラムがあった際にはまた留学に挑戦してもらいたいものです。

2020年～2021年にかけて5名の派遣学生が大学受験等の理由で辞退し2名の学生が残りその後3名の学生からエントリーが有り現在は5名の派遣学生となりました。

私たち委員会は必ず近いうちにプログラムが再開されることを信じ、色んな工夫をしオンラインでのオリエンテーション等を行ってきました。

そしてRIより2022年7月からプログラム再開の連絡が入り、学生に伝えると目を輝かせて大変喜んでいました。今では5名全員派遣国が決まりプレゼンテーションの作成にもより一層力が入り語学力も随分伸びてきているように思えます。

2022年～2023年度はインバウンドも来日し、とても賑やかになることでしょう。

しかしコロナ禍の中なので色んな制限もあろうかと思われそうですが、学生が充実した留学生活を送れるよう地区委員一丸となってサポートしていくよう努めていきます。

2740地区の皆様方これからもこの青少年交換プログラムへのご理解とご協力をお願い申し上げ私の退任のご挨拶とさせていただきます。

2年間大変お世話になり有難う御座いました。

## 地区委員長退任挨拶



RYLA地区委員会

相浦 封哉 (多久RC)



RYLA委員会の相浦と申します。

退任にあたり、今年度を振り返りますと、今年度より「RYLA委員会」と「新RYLA検討委員会」が統合となり、「新RYLA」として、いかに新たなセミナーを企画・開催していくかという事について勉強会や具体的な議論を積み重ねる一年となりました。

コロナ禍にもかかわらず、5回のリアル会議を開くことが出来、新RYLA委員会として具体的な共通の理解・認識を深める事が出来ました。各委員皆様のご協力に感謝申し上げます。

又、過去2回、RYLAセミナーがコロナ禍の為中止となり、次年度は4年ぶりにRYLAセミナーを開催予定ですが、再度、佐世保西RC様がホストクラブを快諾して下さい、誠に感謝申し上げます。

又、5月21、22日両日、鳥取にて全国RYLA研究会が「RYLAの真髄」というテーマで開催されます。当委員会からは私を含め、5名の委員がリアル及びZOOMで参加予定であり、RYLAが目指す地域社会・国際社会に奉仕する青少年リーダーの養成について委員会として理解を深めていきたいと思っております。

次年度は徳川新委員長のもと、ホストクラブ佐世保西RC様と密に協力し、セミナー成功に向け、委員会一同頑張りたいと思っております。

最後にガバナー事務所、地区委員の皆様方には大変お世話になりました。これをおもちゃして退任の挨拶とさせていただきます。



資金推進委員会

西村 勇二 (長崎RC)



本年度、第2740地区資金推進委員会委員長を仰せつかりました、長崎ロータリークラブの西村です。日頃より財団に対するご支援ご理解をいただきましてありがとうございます。

当委員会はロータリー活動を資金面から支えている「ロータリー財団」に対する寄付を推進する委員会であり、地区が設定した寄付目標(一人あたり年間150\$、ポリオ根絶支援など)にしたがって、その金額を達成できるように支援する活動を行ってまいりました。しかしながら本年度も新型コロナウイルスの影響を受け、各セミナーや委員会活動がほとんどできないまま一年が過ぎてしまい大変申し訳ない気持ちです。ただその中でも各ロータリークラブの皆様方には例年と変わりなくご寄付をいただきまして心から感謝申し上げます。

皆様から頂いた貴重なご寄付は世界中の地域社会を変えていくことができます。人々の健康を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて世界理解、親善、平和を構築できるよう支援できるようになります。次年度も引き続き財団活動並びにご寄付へのご理解とご協力をお願い申し上げます。私も次年度引き続き資金管理委員長を拝命いたしました。一年間のお世話になりました御礼と、次年度の更なるご支援をお願いいたしまして退任のご挨拶とさせていただきます。

## 地区委員長退任挨拶



ロータリー財団委員会

岡村 康司 (長崎南RC)



ロータリー財団委員会は今年度2つの大きなセミナー（11月の財団セミナー、2月の補助金管理セミナー）がコロナ禍のため開催できませんでした。参加対象を大幅に縮小して開催することや、ZOOMでの開催も検討しましたが結果として2年連続で中止となったことを深くお詫びいたします。大きな事業はできませんでしたが財団グループ内の勉強会、財団月間での訪問卓話、グローバル補助金（GG）奨学生の面接選考会は可能なかぎり行うことができました。今年度の活動内容は以下のとおりです

2021年 9月 17日	GG奨学生候補2名の面接選考会	サンプリエール（長崎市）
2021年 9月 24日	財団グループ委員長会議	インターナショナルホテル（大村市）
2021年11月12日	ロータリー財団月間訪問卓話	長崎出島ロータリークラブ ホテルニュー長崎
2021年11月15日	ロータリー財団月間訪問卓話	武雄ロータリークラブ 武雄市商工会館
2021年11月16日	ロータリー財団月間訪問卓話	北松浦ロータリークラブ サンパーク吉井
2021年12月 2日	ロータリー財団月間訪問卓話	平戸ロータリークラブ 平戸海上ホテル
2021年12月12日	財団グループ全体会議とGG奨学生候補の第2次面接選考会	ホテルセンリュウ（諫早市）
2022年 2月15日	2022-2023GG奨学生候補1名の面接選考会	ZOOM
2022年 4月 1日	2022-2023 GG奨学生候補1名の面接選考会	サンプリエール（長崎市）
2022年 4月24日	2022-2023年度地区研修セミナー第5分科会開催	マリトピア（佐賀市）
2022年5月16日	ロータリー財団月間訪問卓話	佐世保北ロータリークラブ セントラルホテル（佐世保市）

### - 地区補助金事業 -

- ・17のクラブから申請があり、うち13クラブで地区補助金を活用した事業がありました。  
（4クラブ取り下げ）
- ・GG奨学生に漏れた1名を地区補助金に切り替え留学させました
- ・ロータリーデーでの清掃活動（海洋廃プラスチック清掃）に使用する幟を従事したクラブに寄贈しました
- ・モンゴルにおける肝炎・肝臓がん対策地域医療チーム派遣支援事業
- ・地区VTT事業…ネパールRAC会員交流滞在費支援
- ・ウクライナ国への人道支援

コロナ禍で各クラブの例会も休会が相次ぎましたが当委員会は塚崎ガバナー、岡田地区幹事のご支援でなんとかこれらの活動ができました。紙面にてお礼申し上げます。

今年度で3年の任期を終えいったん退任いたします。2年間2つの大きな財団委員会の催しができませんでしたのでその再開とGG奨学生候補の最終合格に向けてもう一年頑張りたいと思います。今年度関係各位の皆様方には大変お世話になりありがとうございました。

## 地区委員長退任挨拶



ポリオプラス委員会

瀬戸 信二 (長崎南RC)



今年度より、ポリオプラス委員長を拝命し、早いもので1年が経過しました。初めての経験で、至らぬ点が多かったと存じます。

ポリオは、ポリオウイルス感染により四肢急性麻痺を来す疾患で、ウイルスで汚染された水などがヒトの口に入り、腸の中で増殖し感染します。さらに、感染者の腸で増えたウイルスが排出され下水に流入し、上下水道が整備されていないなど衛生状態が悪い場合に、再びヒトの口に入り、感染が拡大します。1988年以降、世界的なポリオワクチン接種の徹底により、ポリオウイルス根絶の試みは大きな進捗が見られ、2015年9月に2型野生株、2019年10月には3型野生株も根絶宣言がなされました。現在、残されているのは、1型野生株の伝播が継続しているアフガニスタン（2022年1例、2021年4例）とパキスタン（2021年1例）のみです。このように野生株ポリオウイルスについては、世界根絶宣言も時間の問題と思われています。

ところが、経口生ワクチンに使われる弱毒化ポリオウイルスが、ごく稀に遺伝子変異を起こし、野生株と同様の毒性を持つようになることが新たな問題となっています。伝播型ワクチン由来ポリオウイルス（cVDPV）と呼び、その発生が21か国で確認されています。cVDPVは、ポリオワクチンの接種割合が極端に低下した地域で、ワクチン株ウイルスが下水などで少なくとも1年以上にわたって循環し続けた場合に、発生する可能性が出てきます。「ワクチンの接種率が低下し、人口密度が高く非常に不衛生な場所、例えば都市のスラム街」でcVDPVが広がる懸念が浮上しています。野生株の根絶を完了させることとcVDPVの伝播を止めることが現在の課題です。この予防には、ワクチン追加接種とウイルス検出サーベイランスがとても重要です。加えて、貧困への対策など、更なるあと一歩の努力が求められています。ロータリアンの皆様のご理解とご協力・ご支援宜しくお願いします。



米山記念奨学委員会

松田 洋一 (諫早北RC)



2021～2022年度塚崎ガバナーの下、米山記念奨学委員会地区委員長を務めさせて頂きました。

ロータリアンの皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大の大変な状況の中、米山記念奨学事業をお支え頂きまして誠に有り難う御座いました。

又、ガバナーをはじめ地区役員、地区委員の皆様には、大変お世話になりました。

今年度もコロナ禍の為、前年度に続き事業の制限を余儀なくされましたが一通り年間スケジュールを無事に遂行する事が出来ました。

7月の研修旅行では、地区内で奨学生とあまり接する機会がない五島福江市の福江RC・福江中央RCとの交流を目的とした研修旅行を実施しました。

この研修旅行で、離島のロータリアンと奨学生、又奨学生同士の親睦を深める良い機会を得る事が出来ました。他にも『クラブ会長、米山委員長セミナー』『学校説明会』『カウンセラー・奨学生研修会』『出前卓話』『米山の集い』『学友会総会』等、思い起こせば一つひとつ色んな事がありました。

最後の修了式で無事に12名の奨学生を送り出す事が出来た式典では、1年間の苦労が報われるように感動しました。今後、奨学期間を終了した学生が、学友会の一員として将来を切り開いていく事を期待します。

最後に、この米山奨学事業はロータリアンの皆さんの御寄付の基に成り立っておりますので、今後とも国際平和を推進する米山奨学事業に、ご協力を宜しくお願い致します。又、次年度も米山記念奨学委員長を務めさせて頂きますので、引き続きご支援の程宜しくお願い致します。



Zoomでのガバナー補佐会

2021～2022年度

- ガバナー補佐の皆様
- 地区委員長の皆様
- 地区委員の皆様

1年間、地区運営にご協力頂きありがとうございました  
お疲れ様でした



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

## 「佐世保北フレンドシップロータリー衛星クラブ設立記念式典・祝賀会」の報告

佐世保北ロータリークラブ 幹事 **公門 新治**  
(佐世保北RC)

2022年4月16日(土)ホテルリソル佐世保に於いて、「佐世保北フレンドシップロータリー衛星クラブ」設立記念式典・祝賀会が開催されました。

当クラブの緒方信行ガバナーノミニーが衛星クラブを設立しようと発起し、緒方ガバナーノミニーを中心にして、クラブ内で勉強会・議論を重ねてまいりました。第2740地区では初の衛星クラブ設立でしたので、第2700地区の「福岡東令和あけぼのロータリー衛星クラブ」のスポンサークラブである福岡東ロータリークラブに、設立のご指導をいただきました。

そして、晴れて2022年2月24日にR I 理事会より設立認可を受け、当クラブがスポンサーを務める「佐世保北フレンドシップロータリー衛星クラブ」が誕生しました。衛星クラブ設立には最低8名のメンバーが必要ですが、田島慎議長（衛星クラブでは、会長職を「議長」と呼びます。）の下、9名のチャーターメンバーが集まりました。衛星クラブメンバーも佐世保北ロータリークラブの人数に加えられますので、当クラブの会員数も9名増加することになります。

当日は、新型コロナのための制限の中で呼び出す方も限られてしまいましたが、塚崎寛ガバナーをはじめ、千葉憲哉パストガバナー、小川信第6グループガバナー補佐、またご指導いただいた福岡東ロータリークラブより大神会長、田村志朗様にご参加いただきました。

式典では、塚崎ガバナーより、認可状とご祝辞を頂きました。続いて、渡会会長より、田島議長へ目録の贈呈が行われた後、田島議長からクラブ設立について皆様へのお礼の挨拶がありました。

祝賀会では、福岡東ロータリークラブ田村様のご祝辞と乾杯のご発声に続いて、千葉パストガバナー、福岡東ロータリークラブ大神会長よりご祝辞を頂きました。また、衛星クラブメンバーが、一人ずつ自己紹介を兼ねて挨拶を行いました。緊張の面持ちの中、会員それぞれの思いが込められていました。最後に、小川ガバナー補佐の万歳三唱で会を締めくくりました。

今後、佐世保北フレンドシップロータリー衛星クラブは、スポンサークラブである当クラブと連携を図りながら、親睦の輪を広げ、奉仕の理想に向かって邁進する所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。



## 2022 学年度 米山記念奨学生カウンセラー・奨学生オリエンテーションの報告

米山記念奨学地区委員 **大川正二郎**  
(佐賀北RC)

去る2022年4月10日、大村市郡地区公民館で、2022学年度米山記念奨学生カウンセラー・奨学生オリエンテーションが開催されました。

オリエンテーションには、駒井英基米山記念奨学会理事、宮崎清彰米山記念奨学会評議員、上村春甫ガバナーエレクト、次年度の地区幹事、副幹事ら役員のほか、奨学生15名、奨学生の各カウンセラー、米山学友会会長、松田洋一委員長をはじめとする地区委員が出席しました。

午前の部は、奨学生とカウンセラーが分かれてそれぞれについてのオリエンテーションを行いました。オリエンテーションでは、米山記念奨学事業が、他の奨学金とは異なり、奨学金を交付するだけでなく、ロータリーの会員全体で、奨学生が有為の人材となり、日本と母国の架け橋となって友好関係を築き、世界平和に貢献するような人物となるように育成することに意義があること、また、奨学生が果たすべき義務についてや奨学生に対するカウンセラーの支援のあり方等が説明されました。

午後の部は全体会議となり、駒井米山記念奨学会理事から改めて米山記念奨学事業の意義が説明され、上村ガバナーエレクトから第1回の奨学金が各奨学生に手渡されました。また、今後の予定や学友会の説明も行われました。

奨学生らは、緊張した面持ちの中にもこれからの奨学生生活に希望と期待を寄せているようであり、また、カウンセラーの方々も積極的な支援をしていく気運に盛り上がっているようでした。

最後に出席者の記念撮影をしてオリエンテーションが閉じられました。

各お世話クラブはもとより、奨学生がいないクラブにおかれましても出前卓話等で奨学生に接する機会があると思いますが、米山記念奨学事業の意義をご理解いただき、奨学生の育成にご協力下さいますよう、よろしくお願いいたします。



## 2022年3月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	3	80.0	71	6	73	5	1	5	-4	2
	小城	4	56.7	28	4	30	4	0	0	0	2
	牛津	3	91.3	32	0	30	0	0	1	-1	-2
	多久	4	81.2	40	4	36	5	0	0	0	-2
	佐賀大和	3	72.0	26	5	26	6	0	1	-1	0
	小計		76.2	197	19	195	20	1	7	-6	0
第2グループ	佐賀西	3	67.9	36	3	39	3	0	2	-2	3
	佐賀北	4	66.7	44	2	45	3	0	0	0	1
	佐賀南	4	66.5	38	3	37	3	0	0	0	-1
	神埼	1	88.2	37	4	37	4	0	1	-1	1
	佐賀空港	2	55.5	18	1	18	1	0	0	0	0
小計		69.0	173	13	176	14	0	3	-3	4	
第3グループ	有田	3	66.7	30	2	30	2	1	0	1	0
	武雄	3	84.5	43	2	42	2	0	1	-1	-1
	鹿島	2	84.7	31	3	28	3	0	2	-2	-3
	嬉野	5	100.0	25	1	26	1	0	0	0	1
	大町	4	64.3	14	0	14	0	0	0	0	0
	太良	5	91.1	9	0	9	0	0	0	0	0
小計		81.9	152	8	149	8	1	3	-2	-3	
第4グループ	唐津	3	85.7	60	0	59	0	0	3	-3	-1
	伊万里	0	0.0	30	0	31	0	0	0	0	4
	唐津東	0	0.0	51	0	49	0	0	2	-2	-2
	唐津西	1	71.4	30	0	31	0	0	0	0	1
	伊万里西	0	0.0	38	1	38	1	0	0	0	0
	唐津中央	3	75.4	37	5	37	5	0	0	0	0
	小計		38.8	246	6	245	6	0	5	-5	2
第5グループ	佐世保	0	0.0	74	0	73	0	0	2	-2	-1
	平戸	0	0.0	26	2	26	2	0	0	0	0
	北松浦	0	0.0	22	0	22	0	0	0	0	0
	佐世保西	4	69.3	19	2	21	3	0	1	-1	2
	松浦	4	88.0	24	1	25	1	0	2	-2	1
	小計		31.5	165	5	167	6	0	5	-5	2

\*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は2021年7月1日から2022年3月末までの増減です。

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第6グループ	佐世保南	1	100.0	56	0	56	0	0	0	0	0
	佐世保東	0	0.0	24	0	24	0	0	0	0	0
	佐世保北	3	100.0	40	2	51	3	0	0	0	14
	佐世保中央	4	84.6	46	1	47	1	1	0	1	1
	佐世保東南	4	60.0	35	0	35	1	2	0	2	0
	HTB佐世保	3	79.0	22	2	23	3	0	0	0	1
	小計		70.6	223	5	236	8	3	0	3	16
	大村	2	86.8	42	3	40	3	0	1	-1	-2
第7グループ	島原	3	87.8	28	2	30	2	2	1	1	2
	雲仙	2	100.0	5	0	5	0	0	0	0	0
	大村北	3	80.0	23	1	27	1	0	0	0	4
	島原南	4	58.3	15	1	15	1	0	0	0	0
	大村東	0	0.0	34	4	34	4	0	0	0	0
	小計		68.8	147	11	151	11	2	2	0	4
第8グループ	諫早	2	80.5	72	0	73	0	1	0	1	1
	諫早北	4	73.4	77	4	77	4	0	1	-1	-1
	諫早西	4	100.0	45	0	47	0	1	0	1	2
	諫早多良見	4	86.5	32	0	28	0	0	0	0	-4
	諫早南	2	93.3	16	8	13	6	1	3	-2	-3
	小計		86.8	242	12	238	10	3	4	-1	-4
第9グループ	長崎	3	79.3	65	0	64	0	1	2	-1	-1
	福江	3	70.5	33	0	33	0	0	0	0	0
	長崎北東	4	78.0	39	2	38	2	0	0	0	-1
	福江中央	3	90.3	14	0	15	0	0	0	0	1
	長崎西	3	74.1	36	1	37	1	0	0	0	1
	長崎琴海	3	77.8	7	0	7	0	0	0	0	0
	小計		78.3	194	3	194	3	1	2	-1	0
第10グループ	長崎北	5	79.0	72	0	70	0	0	5	-5	-2
	長崎南	4	78.2	68	0	68	0	1	3	-2	0
	長崎東	3	75.7	40	1	38	1	0	1	-1	-2
	長崎みなと	2	80.4	29	1	29	1	1	0	1	0
	長崎中央	3	90.5	49	0	48	0	0	0	0	-1
	長崎出島	3	74.2	69	11	72	10	0	0	0	3
	小計		79.7	327	13	325	12	2	9	-7	-2
56クラブ合計			68.3	2,066	95	2,076	98	13	40	-27	19





## 新会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々をご紹介します。  
※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に記載が間に合わなかった新会員の方のご紹介は、次号に記載させていただきます。



佐賀 RC

田島 栄太郎君  
株式会社 美穂野  
代表取締役



有田 RC

梶原 貞則君  
(有)梶貞製陶所  
代表取締役



佐世保中央 RC

田端 真人君  
(有)アフターショップたばた  
代表取締役



佐世保東南 RC

木村 曜君  
弁護士法人 大村総合  
法律事務所 弁護士



佐世保東南 RC

内川 竜一君  
(株) UCHIKAWA  
代表取締役



島原 RC

伊藤 博仁君  
もとよし食堂  
代表者



島原 RC

本多 正明君  
株式会社 ホンダ不動産  
代表取締役



諫早 RC

森 達暉君  
森達暉行政書士  
事務所 代表



諫早西 RC

木村 真一君  
Kick(株)  
代表取締役



諫早南 RC

江添 典幸君  
(株)メモリード  
常務取締役



長崎 RC

小八木 滋也君  
サントリー酒類(株)  
長崎支店 支店長



長崎南 RC

片山 仁志君  
(株)長崎文献社  
代表取締役社長



長崎みなと RC

岳下 齊弘君  
(株)サクセス  
代表取締役



## 物故者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

佐賀 RC  
音成日佐男君  
(享年73歳)



長崎 RC  
山田 康生君  
(享年81歳)



## 寄付者紹介

ご厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を記載いたします。

ロータリー財団		
種類	氏名	クラブ名
メジャードナー	花島光喜	鹿島
	岩崎修一	諫早北
マルチプルポールハリスフェロー	小田計吾	平戸
	山崎弘	平戸
	犬養義一	松浦
	武部勝海	松浦
	山本浩平	松浦
	本田清秀	諫早北
	橋本政二	諫早北
	辻本善樹	諫早西
	アーリージェフリースチュアート	諫早多良見
	中村重敏	長崎
	池田秀樹	福江中央
ポールハリスフェロー	梅本義信	長崎南
	田中泰三	平戸
	俵屋敦	平戸

米山記念奨学会		
種類	氏名	クラブ名
米山功労者メジャードナー	福元裕二	佐賀北
	朝永春郎	松浦
	小川春彌	長崎南
米山功労者マルチプル	安部重幸	平戸
	柿添圭嗣	平戸
米山功労クラブ	山下正雄	唐津
	辻賢治	平戸
	瀧下孝	平戸
	友永俊介	諫早西

ポリオ・ワンコインBOX 報告	今月分BOX 金額	累計金額
	169,384	2,129,208

## 6月行事予定

2022年5月15日現在

日程	行事予定	場所
<b>6月（ロータリー親睦活動月間）</b>		
4日（土）～8日（水）	国際大会	アメリカ：ヒューストン
11日（土）～12日（日）	RAC 一泊懇親会	鹿島市自然の館「ひらたに」& 祐徳稲荷神社
15日（水）	新旧ガバナー補佐交代式	ホテルニュー長崎
18日（土）	2022～2023年度 米山記念奨学委員長セミナー	西九州大学
18日（土）～19日（日）	第25回国際ロータリー日本青少年交換研究会 熊本会議	A NAクラウンプラザホテル 熊本ニュースカイ
23日（木）	規定審議会報告会	Zoom
24日（金）	米山記念奨学 学校説明会	諫早文化会館
26日（日）	国際青少年交換オリエンテーション	諫早文化会館



## ロータリーの魅力とは

私たちがロータリーに入会し、会員であり続けるのは、ロータリーに対して何らかの魅力を感じているからでしょう。ロータリーに魅力がなければ、入会もしませんし、会員であり続けることはできません。その魅力をどうとらえるかはロータリアン一人ひとりにより異なるかもしれません。

私はロータリーの魅力について問い直すにあたり、あらためてロータリーの本質を正しく再認識することが欠かせないと考えます。ロータリーのCore Values (中核的価値観) にこそロータリーの本質があると理解します。

1. Service: 人のために良心をもって行う行為・行動すべてであり、ロータリーでは社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・クラブ奉仕と分類されます。ロータリーならではの奉仕の理想や超我的奉仕をさせていただくことに魅力を感じます。
2. Fellowship: 奉仕の理念に集う私たちロータリアンはいわば同志であり、志を同じくする仲間であり、その仲間を大切に思う心を育て、ともにロータリーの目的に向かう原動力となるロータリーならではの親睦に魅力を感じます。
3. Leadership: 世界中の多種多様なリーダーの集まりの中で、相互に啓発されて、そのリーダーシップを学び磨きあうことのできる例会や研修などの多種多様なプログラムを備えるロータリーのメンバーであることに魅力を感じます。
4. Integrity: 人としての在り方としての大切な芯となる、誠実・真摯・信念・品位・法令順守など高潔性に大きな価値を置き、自分磨きができるロータリアンとしての自覚と誇りが持てることに対して魅力を感じます。
5. Diversity: 国・民族・宗教・言語・人種・性別・職業・年齢などの多様性を受け入れて認め合うだけでなく、Equity (公平) Inclusion (包摂性) の概念をとりいれて、誰一人として取り残すことのない世界をともに目指すことに魅力を感じます。

これら5つの中核的価値観をもとに、「私たちロータリアンはお互いに手を取り合って行動に移すことで、国際社会や地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生み出す世界を目指す」(ロータリーのビジョン声明) に対して大きな魅力を感じます。ロータリーはまさに、人としてのより良い生き方を学び成長することができる道場であり、世界平和をめざす実践哲学でもあります。このようなロータリーとの出会いに感謝してあらためてロータリーを学び、実践し、発信し、ロータリーを楽しみたいと思います。今まさに、ロータリーの魅力を再認識したうえで、時代の変化に適応した会員維持と会員増強が望まれます。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 中川 基成 (あすかRC)

## 2021-22年度もあと1カ月

2020年1月15日に日本で最初のCOVID-19感染者が確認されて2年5ヶ月が過ぎましたが、未だ多くの感染者が確認されています。この間、ロータリー活動も制限され、例会やロータリーの会合の多くが、ZOOMを使ったオンラインでの会合やオンラインとインパースンを合わせたハイブリッド会合となりました。

そして、北京冬季オリンピックが閉会した4日後の2月24日、ロシアがウクライナへ侵攻するという予想もしない出来事が起こりました。ロータリーの究極の目的が「世界平和」であることを考えると、ウクライナに一日も早い平和が訪れることを願ってやみません。国際ロータリーは、早速2月25日にウクライナ情勢に対する声明を発出し、ロータリー財団はウクライナから避難する人々への人道支援のためにロータリー災害救援基金を募り人道的救援活動に活用していきます。そして、その額は1,450万ドル(5月12日更新)となっています。ロータリアンの温かいご支援に心から感謝申し上げます。

さて、2021-22年度もあと残すところわずかとなりました。この時期になると、年度初期に決めたロータリー財団の目標の達成の可否が気になります。特に「年次基金寄付ゼロクラブゼロ」は毎年地区ロータリー財団委員長を悩ませる懸案事項です。幸い昨年は皆様のご努力下日本の第1地域から第3地域のすべてのクラブが寄付をしていただき「年次基金ゼロクラブゼロ」を達成しました。ご存知のように年次基金への寄付は3年後の地区の地区補助金の財源となる貴重な資金です。この財源を利用して各地区の多くのクラブがプロジェクトを企画立案し、戦略計画に基づいてクラブの活性化を図ることが出来ます。皆様がロータリー財団の年度目標について、今一度ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

毎年日本のロータリー財団の目標はRRFCが策定することになっています。毎年国際ロータリー日本事務局財団室からの財団室NEWS 4月号に掲載されます。今年も次年度R財団目標が掲載されました。年次基金への寄付額目標は150ドル/ロータリアンですが、実はこの財団目標がクラブのレベルまで周知されていないことが、往々にしてあるのです。地区財団委員長の皆様には是非クラブレベルでの周知にご協力をお願いしたいと思います。

次年度はこれを踏まえ、地区財団委員長とロータリー財団地域コーディネーター (RRFC)、ロータリー財団地域コーディネーター補佐 (ARRFC) との合同会議を企画したいと思います。

第3地域の11地区では4月現在昨年同月比で8地区の寄付が昨年を上回りました。多くのご理解をいただき、コロナ禍の中にも関わらずご支援いただいたことに感謝申し上げます。更なるご理解をお願いいたします。

第3地域 RRFC 永田 壮一 (熊本城東RC)

# 子どものころのわが町 長崎



昭和38年当時 長崎市榮町・魚の町の風景です。  
賑町から馬町方面を見た電車通りの写真です。  
道路添いに高いビルが建っていないせいか道幅が広く感じますが、  
軌道敷地以外は片側一車線しかありません。  
現在は片側2車線あります。  
左手には長崎相互銀行(現 長崎銀行)の看板が見えます。  
写真集「長崎おもいで散歩3」(真木雄司氏撮影より)

## 編集後記

ガバナー月信の表紙を飾った堤けんじ氏のためき絵も今月号が最後です。ほのぼのとした絵柄に心が癒されます。皆様のご協力のおかげをもちましてガバナー月信も総集号を残し、一年間無事発行することができました。ありがとうございました。

第2740地区ガバナー事務所

〒852-8003

長崎県長崎市旭町13-5 タワーシティ長崎ウエストコート201号

TEL : 095-895-5330 FAX : 095-894-5431

E-mail : ri2740tsukasaki@joy.ocn.ne.jp

URL : <https://rotary2740.jp/>